

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回 本庄市交通政策協議会		
開催日時	令和4年7月21日(木)	<table style="display: inline-table; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午前</td>・午後 10時00分から</tr></table>	午前
午前			
午前			

開催場所	本庄市役所 大会議室		
出席者	区 分	職 名	氏 名
1号委員	本庄市副市長	山下部 勝	
2号委員	朝日自動車(株) 運輸部 部次長	田沼 健一	
十王自動車(株) 代表取締役 専務	石倉 実希雄		
一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	関根 肇		
3号委員	本庄観光(株) 代表取締役	山田 三二	
4号委員	本庄地区タクシー協議会 会長	神宮 つぐよ	
一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事	高原 昭		
6号委員	本庄市老人クラブ連合会 副会長	柳田 信	
本庄市商工会議所 専務理事	田中 一成		
児玉商工会 会長	江原 貞治(代理)		
本庄市身体障害者福祉会 会長	種村 朋文		
7号委員	本庄警察署交通課 課長	笹原 久雄	
8号委員	児玉警察署交通課 課長	金子 昇	
9号委員	埼玉県企画財政部交通政策課 主査	西野 利彦	
10号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官	小川 ゆかり	
11号委員	国土交通省関東地方整備局建政部 都市調整官	大関 弘之	
12号委員	埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長	岡本 史靖	
13号委員	早稲田大学 名誉教授	浅野 光行	
本庄市議会 議員	林 富司		
事務局：齊藤都市整備部長、栗原都市整備部次長、茂木都市計画課長、 笠原副参事、小暮課長補佐、菊池主任			
欠席者	区 分	職 名	氏 名
3号委員	武蔵観光(株) 総務部長	家内 知宣	
5号委員	朝日自動車労働組合 執行委員長	飯塚 光弘	
6号委員	共栄(本庄) 自治会長	黒澤 一雄	
12号委員	国土交通省大宮国道事務所 所長	阿部 俊彦	

議 題 (次 第)	1. 開 会 2. 挨 拶 3. 議 事 (1) 地域公共交通計画策定のスケジュールについて (2) 地域公共交通計画策定に係る各種意識調査について ①市民意識調査 ②デマンドバス利用者意識調査 ③シャトルバス利用者意識調査 ④デマンドバス未利用者意識調査 ⑤シャトルバス未利用者意識調査 ⑥路線バス利用者意識調査 ⑦鉄道利用意識調査 4. 報告事項 5. 閉 会
配 付 資 料	・令和4年度第2回本庄市交通政策協議会 次第 ・委員名簿 ・資料1～3 ・参考資料
その他特記事項	
主 管 課	都市計画課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 等
司 会	<p>定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>協議会につきましては、本庄市交通政策協議会設置要綱第6条第5項により、原則として公開により開催することになっております。</p> <p>市のホームページで傍聴のご案内をいたしましたが、傍聴人はございませんでしたので、ご報告させていただきます。</p> <p>なお、会議録につきましては、発言した個人を伏せたうえで公開となりますので、ご了承ください。</p> <p>皆さまにはお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、都市整備部都市計画課課長の茂木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>これより令和4年度第2回本庄市交通政策協議会を開会いたします。</p> <p>なお、本日は地域公共交通計画の策定業務を委託しております、国際航業株式会社も同席しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ちまして、事務局から会議の成立についてのご報告と配布資料の確認をさせていただきます。</p>
事務局	設置要綱第6条第2項に「会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。」と規定しております。

	<p>本日、出席しております委員は、23名中19名であります。よって、本会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>続いて、お手元に配布してあります資料の確認をさせていただきます。配布資料に不足がございましたら、事務局までお申し出ください。</p>
司 会	<p>それでは、お手元に配布されております次第に従いまして、進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、開会にあたりまして、山下部会長より、挨拶をお願いいたします。</p>
会 長	(挨拶省略)
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>会議に先立ちまして、協議会委員の交代がございましたので、これより委嘱状の交付を行います。</p> <p>新たに委員となられます方は、2号委員富川浩光様に変更しまして、田沼健一様でございます。</p> <p>これより山下部会長より委嘱状をお渡しいたしますので、田沼委員におかれましては恐れ入りますが、自席にてご起立いただきまして、委嘱状をお受けいただきますようお願い申し上げます。</p>
会 長	《委嘱状交付》
司 会	<p>それでは、これより議事に移ります。設置要綱第6条第1項の規定によりまして、本会議の議長は、会長が務めることとされておりますので、山下部会長に今後の進行をお願いいたします。</p>
会 長	<p>会議の運営につきましてスムーズにいきますようご協力をお願いいたします。</p> <p>本日の議事は2点でございます。まず、次第の3「議事」に入らせていただきます。議事(1)「地域公共交通計画策定のスケジュールについて」を議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	《議事(1) 地域公共交通計画策定のスケジュールについて》説明
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>地域公共交通計画のスケジュールにつきまして事務局からご説明いただきました。皆さまからご質疑等ございましたら、お願いいたします。</p>
全委員	(意見等なし)
会 長	<p>スケジュールにつきまして、質疑等無いようでございます。議事(1)の「地域公共交通計画策定のスケジュールについて」につきまして、皆さま方にお諮りしたいと思います。議事(1)について、原案の通り進めるということではよろしいでしょうか。</p>
全委員	(異議なし)
会 長	<p>それでは、このスケジュールに従いまして、進めていくということでお願いいたします。議事(1)の「地域公共交通計画策定のスケジュール」の(案)を削っていただきまして、「地域公共交通計画策定のスケジュール」にしていただきたく思います。</p>

	<p>続きまして、議事（２）の「地域公共交通計画策定に係る各種意識調査について」を議題としたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議事（２）につきまして、計画策定の業務を委託しております国際航業株式会社の担当者から説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
委託業者	<p>≪議事（２） 地域公共交通計画策定に係る各種意識調査について≫説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。資料が非常に多くございますので、いくつかに分けてご質疑を受けた方がわかりやすいかと思えます。まず、資料２－１「公共交通に関するアンケート調査のお願い」の中で、１５歳以上の３０００人を対象としたアンケート調査の内容等につきまして、ご質疑等いただけたらと思えます。</p>
委員	<p>設問８についてですが、表という形でそれぞれの数字に丸をつけることになると思えます。設問８以外の設問については、数字のすぐ横にその数字が何を意味しているのかが書いてありますが、設問８については文を見ないと数字が何を意味しているのかわからないところがあります。例えば、選択肢の５番は、設問上は「全く思わない」という意味ですが、５番の数字を満足度が高いという先入観で丸を付けられてしまうような、反対の意味で回答されてしまう可能性があります。できれば数字のすぐ横にその数字が意味する言葉を書いておいた方が、回答の誤りも防げると思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局から説明はございますか。</p>
事務局	<p>委員の方からご意見のありました通り、市民の方で回答の際に誤りがあるかと思えますので、設問の形式については、事務局の方で工夫させていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>スペースの関係もありますので、間違いなく、わかりやすく選択できるように工夫をさせていただきます。 他にご質疑はございますか。</p>
委員	<p>アンケート全体についてですが、基本的には印刷物だけのアンケート調査になりますか。WEB上のアンケート等もあるかと思えますが、私ども障害者団体としては、例えば、盲人の方に対してのアンケートも一定数は反映されてもよいと思えます。そうしなければ、市全体のアンケートという形にはなりません。その点も含めて意見等をいただきたいので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。大変貴重なご意見いただきました。アンケートの方法は、紙ベースだけなのかというご意見でございます。特に、目の不自由な方等のご意見の収集について何かあるかどうかという内容ですが、何かありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。目の不自由な方に対するアンケートの取り方等については、庁内で他のアンケートを行っていますので、そちらの実施方法を確認し、アンケートの回答方法、実際にアンケートをどうやって収集するか事務局の方で検討させていただきたいと思えます。</p>

会 長	<p>アンケートの実施方法等については、他の部署とも調整し、検討させていただきます。</p> <p>それでは、先に進めさせて頂いて、気づいた点等がございましたら、資料2-1に戻って、質疑を受け付けたいと思います。</p> <p>続きまして、資料2-2、資料2-3のデマンドバス・シャトルバスの利用者に対するアンケートについてです。関連等もございますので、二つのアンケートについてご質疑等ございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>デマンド交通の予約方法についてです。現在は電話による予約だと思えますが、最近、他の市町村では、電話以外のインターネットやアプリ等による予約方法の導入が進んでいる状況もございます。本庄市でも、実際にそのニーズが市民の方にあるのかというところを設問として一つ入れていてもよいかと思ったのですが、いかがでしょうか。</p>
会 長	<p>実際に利用されている方にとって、電話予約だけではなく、インターネット等利用した予約に対する意識調査もあった方がよいのではないかというご意見ですが、事務局で何かございますか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。デマンドバスの予約については、昨年度デマンドバスの予約に特化したアンケートの方を実施しております。現状の予約システムについて、AIを活用したシステムを導入すべきか、インターネットからの予約をできるようにすべきか等、様々な選択肢を示した上で、アンケートを実施しております。そちらのアンケート調査結果のデータが別途ございますので、今回のアンケートでは何かありましたら、設問8の不满理由のその他の自由記載欄に記入していただくことを想定しております。</p>
会 長	<p>令和3年度中に、インターネット等を使った予約方法についてのアンケート調査は既に行っているということです。今回その資料はございますか。</p>
事務局	<p>今回の資料にはございません。第1回の時に資料としてお配りさせていただいたのですが、アンケート調査結果の中でAIの活用導入について、利用者が高齢の方が多いため、導入意向の数としては多くありませんでした。実際の回答は、オペレーターの数を増やしてほしい、車両の数を増やしてほしい等のご意見をいただいております。また、混雑状況についてお知らせした方がいいのではないかなというようなご意見も頂戴しておりました。</p>
会 長	<p>前回の資料で、アンケートさせていただいた結果もでてるので、今回はその他の自由記載に記入してご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>他にデマンドバス・シャトルバス利用者アンケートについてご質疑がございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>アンケートの対象についてです。年代が10代から90代以上とありますが、加齢による身体の変化や車の免許返納等の統計を取るための年代調査であれば、ここに身体に対しての状況、例えば腰が痛い、足が悪い、聴覚、視覚等の設問も入れてみてよいかと思います。例えば、20代の方であれば普通ですと皆さん元気でお勤めをしています</p>

	<p>が、その中で健康上、もしくは身体に何らかの支障がある方がおられると、それは通常で考える20代には括れないと思います。これは、交通上の身体障害者ということではなくて、お年を召した方、もしくは病気・怪我をされた方等を対象とした何らかの健康上、移動を阻害するような状況にあるのかないのかという部分を全てのアンケートに入れてみると、いろんな利用方法というところも少し見えてくるのではと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。実際に利用されている方の身体・健康等含めた状況についてできる限り記入いただくことで、今後の検討に繋がるのではないかというご意見です。設問1の⑤歩行補助器具使用の有無をお伺いする設問はありますが、それを含めてもう少し踏み込んだ状況の調査についてのご意見だと思います。事務局の方で何かございましたらご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。身体の状況、足腰、視覚、聴覚等、様々ございますが、事務局といたしましては、歩行補助器具の設問のところ与实际につえをついているお客様やシルバーカー、車いす、電動カート等で、自分で公共交通に乗車ができるような方に向けて設問を設けて、選択肢にないものについてはその他に記載していただこうと思っております。</p>
会 長	<p>選択肢にないものはその他で記入していただくという説明ですが、委員の方から何かございますか。</p>
委 員	<p>私もアンケートを取ったことがあります。その他というのは基本的にほとんど書いてくれないです。もう少し具体的な内容、例えば、つえだと何か器具を使っているかどうかということもあれば、歩行補助器具ではない盲人の持っているつえもあり、それは身体を支えるつえではございません。また、聴覚障害者の持っている補聴器も歩行するためのものではなく、情報を集めるためのものです。その他部分に文字を書くのではなく、もう少し事例を増やした形で、例えば、腰が痛いとか足が痛いというような障害者だと認定されないような方々の体調の内容を含めて書けばよいと思います。</p>
会 長	<p>現段階では歩行補助器具の状況だけを聞いているため、もう少し選択肢を広げるアンケートにできないかというご意見だと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>委員の方から頂いたご意見ですと、その他のところで自由に書いてくださいと申し上げて中々記入が難しいと思います。選択肢を入れられるスペースの問題もありますので、例えば、補聴器等を選択肢で選べるようにし、選択肢としてどのようなものがあるのか福祉部門とも調整をして、可能な限り設問の中に取り込むよう、調整いたします。</p>
会 長	<p>福祉部門の方とも調整し、その他で文字に書いてくださいということではなく、少し選択肢を増やしていくつか例をあげていくことで進めさせていただきます。 他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>改めて前回お配りいただいた昨年度のデマンドバスの予約に特化し</p>

	<p>たアンケート結果の資料を拝見いたしまして、「予約について優先順位が高いと思うこと」の設問で、今回改善されるという「混雑状況のお知らせ」が20%で、「インターネットからの予約を可能にする」が19%と、ほとんど変わらないです。さらに、アンケート調査の回答者も63人ということで母数も少ないのかなというのもあり、今回、利用者アンケートは大体1000部配られたり、市民意識調査だと3000人等を対象としているので、今回のアンケートでも同様のことを聞いて、結果が変わらなければ市民のニーズの把握はできるかと思います。「インターネットから予約を可能にする」と「混雑状況をお知らせする」でほぼ同じ割合の方が求めてらっしゃるところもあるので、気になった点として指摘させていただきます。</p>
会 長	<p>昨年度のアンケートでは調査対象者も少ないのではないかと、今回利用者数1000人くらいにアンケート調査を行うので、改めて選択肢として入れることはどうか、というようなご意見だと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。昨年度実施したものについては、事務局の方で実際に利用されている方に手渡しをして回収しているものなので、数的にはかなり少ないものになっております。今回、市民3000人にアンケートを取るということで、やはり予約のところが課題なのであれば、インターネット予約についても設問で改めて聞いた方がよろしいのではないかとというようなご意見かと思っております。昨年度実施したものとの比較も含めて同じような設問を紙面の関係で入れられるかどうか調整をさせていただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>紙面の都合等もありますので、事務局と私の方で工夫させていただきます。</p> <p>他に、デマンドバス・シャトルバスの利用者に関するアンケートについてご質疑等ございましたらお願いします。</p>
全委員	(質問等なし)
会 長	<p>また別の資料に戻って質問をいただくこともあるかと思っておりますので、先に進めたいと思っております。</p> <p>続きまして、デマンドバス・シャトルバスの未利用者に対するアンケート、資料ですと資料2-4と資料2-5につきまして、ご質疑等いただければと思っております。</p>
委 員	<p>同じようにインターネット予約に関して未利用者の方にも、インターネット予約ができれば使うかもしれないというニーズがあるかどうかの確認をご検討いただければと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。インターネット予約と、先ほどの歩行補助器具の設問についても同じようなことであると思っておりますので、併せて検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>他にございますか。</p>
全委員	(質問等なし)
会 長	<p>それでは続きまして、路線バス及び鉄道の利用者意識調査、資料2</p>

	<p>ー6、資料2ー7につきましてもご質疑等ございましたら、お願いします。</p> <p>また他の資料に遡って、ご質疑等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>タクシー協議会の代表としてお伺いします。高齢になり運転に自信が無いことや、アクセルとブレーキを踏み間違った大きな事故が大変多いということで運転免許返納者が増えています。いろんな手段は取っていると思いますが、是非免許を返納した方に本庄市として補助を出していただきたいです。今、朝日タクシーさんだけ入っていないのですが、他の4社では、免許返納者はタクシーの1割引の券が使えるようになっています。しかし、公共交通事業者はコロナの影響で経営も厳しくなっていることから、この1割引の割引券も重要となっています。これは是非、市の方で補助していただけるような形をとっていただけると、タクシー業界の者も救われるのではないかと思いますのでご検討いただきたいです。</p>
会長	<p>今のお話は、利用する方への補助というご意見だと思います。ここでは、アンケート調査についてご検討いただいているところなので、補助制度については別途ご意見として私の方で承りたいと思います。</p> <p>それでは、意識調査につきまして、若干修正を事務局で加えさせていただき、このアンケートで実施していくということによろしいでしょうか。</p> <p>他にご質疑等ございますか。</p>
委員	<p>広範囲な意識調査を企画していただいて、大変だと思いますが、調査結果を上手く使わなければならないと思います。アンケートの実施にあたって、今のデマンドバス、それからシャトルバスの実際の使い方と利用に対する意識との間を繋げるような調査となるように、企画上の意図を持っていただくと大変ありがたいと思っています。例えば、バス停が自分の家からどこにあるかということもあまり意識したことのない方がいると思いますし、目的地に行くにはどここのバス停で降りたらいいのか分からない方もいると思います。現在400か所あるバス停の使い方とこのアンケート結果をマッチングできるような分析のことも考えて、調査票をチェックしていただくとよいかと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。実際の利用と意識の食い違いもでてくるのではないかと、現在400か所あるバス停について、例えば、乗降場所、停留所の関係について、どのように考えているのかというようなご意見頂戴したかと思います。まず、事務局の方で、今の段階で結構ですので、分析の方針や対応可能な設問がありましたら説明願えるとありがたいです。</p>
委託業者	<p>貴重なご意見ありがとうございます。資料2ー2のはにぼん号・もといずみ号に関するアンケート調査票の設問3で利用の目的を聞いています。また、乗られた時に運転手から手渡しで調査票を渡していただきますので、設問5にご利用された停留所はどこですかという設問を入れております。さらに設問6で、自宅から最寄りまでの所要時間を聞いております。これを聞くことによって、例えば、降りた停留所</p>

	<p>があり、その利用された目的とクロス分析を行うことで、バス停別の利用目的や、停留所までの所要時間、よく利用する範囲等を分析することができると今のところ想定をしています。現時点の想定ではありませんので、こういったところが役に立つのではないかとといったところは是非、ご教示いただければ大変ありがたく思います。</p>
会 長	<p>委員の方から貴重なご指摘をいただきました。実際の利用と意識の食い違いをなるべく埋め、利用しやすい状況にもっていくための分析の仕方についても、委員の方にご指導いただければと思います。今の段階ですと、この調査の内容で、概ねそういったことも分析できるのではないかとということでアンケート内容はよろしいですか。</p> <p>他にご質疑等はございますか。</p>
委 員	<p>老人会の代表で来ております。この会議の中で膨大なアンケート調査が出てきておりますが、タクシーの利用についてあまり議論されていないことが気になったため、お伺いします。以前送った市長への手紙で、デマンド交通関係については予約の問題があり、特に老人が利用するのは大変だということで、タクシーを利用できないかということをご提案させていただきました。また、新聞記事等も提示し、タクシーを利用するときに、タクシー券や、タクシーについてもバス乗車証・乗車回数券のようなものを出していただくことはできないかというお話をさせていただきました。その時の市の回答といたしましては、「デマンドバス、タクシーについて利用方法や利用料金など運行形態が様々なので、すでに導入・運行している自治体へ聞いたりして公共交通のあり方を研究しながら、本庄市交通政策協議会等でもご意見いただき、常に検証と改善を図ってまいりたいと考えております。」という回答をいただいております。高齢者、運転免許返納者への対応が具体化されていない中で、アンケート調査にタクシーの利用についてという設問が多く入ってきているのは非常に良いことだと思います。この設問が、私が今申し上げた交通弱者を救済するような状況に結びつくのかどうか、その辺をお伺いしたいです。よろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。今回の資料2-1の中にタクシー利用についてという項目の中で新たな設問が入ってきましたが、特に高齢者、交通弱者に向けてのアンケートになっているかどうかというお話かと思えます。事務局の方で何かご説明ございますか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をありがとうございます。やはり交通弱者に対する公共交通での対応については、本庄市全体の課題だと思います。その中で、様々な公共交通手段があるわけですが、鉄道、路線バス、デマンドバス、シャトルバス、タクシーの役割分担を今年度定める計画の中で、方向性をしっかりと整理していくべきだと考えています。そのために、5年前に行ったアンケートではタクシーの項目が設問として薄かったため、まずは市民の方のニーズや利用形態をしっかりと把握した方がよいだろうということで設問を増やしました。そのうえで、デマンドバスの良いところ悪いところ、またタクシーチケット配布というところの良いところ悪いところ、以前、デマンドバスに変更する前に</p>

	<p>運行していた市内の循環バスの良いところ悪いところ、お金がいくらぐらいかかっているのか、そこも含めまして、しっかりとメリット・デメリットの整理をし、会議の中でお諮りいただいて、本庄市の今後の交通施策について、また福祉施策も一部被ってきますが、考えていきたいと思えます。どうぞ引き続きご意見をしっかりといただけたらと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
会 長	<p>今回、いろんなご意見をいただく中で他自治体が行っているタクシー利用補助制度について、本庄市は実施していないのはいかがなものかというご意見があったかと思ひます。その点も含めて、今回の意識調査の中ではタクシー利用について分析した結果をまた皆さま方にお示しをさせていただいて、ご意見をいただく中でより良い地域公共交通計画にしていきたいという説明があったと思ひます。いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>是非ともよろしくお願ひします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それではその方向で進めさせていただきたいと思ひます。様々のご意見ありがとうございました。意識調査につきましては、若干の修正を加えながら、実施していくということで、皆さまのご理解をいただければそのように進めたいと思ひます。他にご質問等ございますか。</p>
委 員	<p>本日埼玉県<small>の</small>タクシー協会の方もご出席されているので、県内のいろいろな自治体のタクシーの利用についてお伺ひしたいと思ひます。公共交通の計画を細かく詰めなくても、どこのタクシーでも使える形でタクシー券を配布する方法は、埼玉県内でも頻繁に行われています。一つの案として、タクシー券の配布も頭に置いといていただけたらと思ひます。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。 それでは、意見の方もいろいろいただきましたアンケートにつきましては、一部修正を加えまして、順次実施していきます。 以上を持ちまして議事につきましては、終了とさせていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。それでは事務局に進行をお返ししたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
司 会	<p>ありがとうございました。 それでは、次第の4「報告事項」について、事務局よりご報告をさせていただきます。</p>
事務局	<p>《報告事項 路線バス児玉線の延伸について、デマンドバスの予約状況改善について》説明</p>
司 会	<p>ただ今の説明に関しまして、ご質問等ございますでしょうか。</p>
全委員	<p>(意見等なし)</p>
司 会	<p>ありがとうございます。 それでは、報告事項に関しましては以上とさせていただきます。今後も引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。 それでは、以上を持ちまして、令和4年度第2回本庄市交通政策協議会を閉会させていただきます。</p>

	本日は、お忙しい中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございました。
--	-----------------------------------